

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	さくらキッズ保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成 23 年 12 月 12 日

総 評	<p>平成 18 年に開設された乳児保育園です。駅前にありながら、とても静かで園の雰囲気も明るく落ち着いています。</p> <p>定員が 20 名と小規模ですが、子ども一人ひとりと向き合い、ゆったりとした保育をされています。また、保育目標の一つでもある、保護者との連携を大切にされ、子どもの成長を共に喜び合えるよう心がけて保育をされています。</p> <p>園の裏に史跡公園があり、お散歩時に利用しています。また、地域に対して、園を開放して絵本の読み聞かせ会を開くなどの取り組みがなされ、子どもと地域のかかわりを大切にされています。</p> <p>保護者に対しては、絵本の読み聞かせ会、クラス懇談会、運動会、生活発表会など、園と保護者が共通理解をもてるような取り組みを行っています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> * 子ども一人ひとりに丁寧にゆっくりとかかわりを持って保育をされています。 * アレルギーを持つ子どもに対しても、医師の診断に基づき除去食を実施すると共に、他の子どもたちとの相違に配慮した代替食が提供されています。 * 対象児が全て乳児であることから、健康管理には特に気遣い、健康診断の結果や既往歴、予防接種の記録等が詳細にわたって記録されています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> * 調乳室やおむつ替えの場所について改善・工夫されるとなお良いでしょう。 * 職員一人ひとりが自己評価を行い、その結果を職員全体で共有し、保育の質の向上や改善のための取り組みをされるのが望ましいでしょう。

※ それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	さくらキッズ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成23年12月12日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・ 保育の理念、それに基づく基本方針・保育目標は明文化され、職員会議において周知しています。また、入園のしおりやホームページにも保育理念等が掲載され、利用者にも周知されています。

・ 園長と主任保育士が中心となって保育課程が編成され、それに基づき年間指導計画、短期指導計画を作成しています。短期指導計画は、毎月下旬に評価・反省を行い次月の計画にその内容を反映させています。また、毎月の職員会議において目標を共有しています。年間指導計画も年度末に評価・反省を行い次年度の計画に活かしています。

・ 保育課程や指導計画などを利用者にも入園のしおりやホームページ等で周知を図る工夫をされるとなおいでしょう。

・ 管理者と職員間のコミュニケーションはよく、管理者の役割と責任について周知しています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	A
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

[自由記述欄]

- ・向日市のホームページやインターネット等を利用し、社会福祉事業の動向を常に把握されています。
- ・職員の就業状況が把握され、管理者と主任保育士との連携も綿密に取られています。
- ・職員一人ひとりについて、基本姿勢に沿った研修計画が策定されています。また、研修報告が職員に公開され、研修内容を知ることができると共に、次回の研修時に活かされています。
- ・実習生受け入れに関するマニュアルが作成され、職員にも周知されています。また、実習プログラムに基づき実習効果が上がるよう適切な指導が行われ、養成校との連携を強めています。
- ・園の行事スケジュールを掲示板に掲示したり、散歩時の近隣へ声を掛け、園を開放して絵本の読み聞かせ会を開くなどの取り組みがなされ、利用者と地域へのかかわりを大切にされています。
- ・子育て相談や子育て支援活動について取り組まれることが望ましいでしょう。
- ・ボランティア受け入れマニュアルを整備し、受け入れ体制を整えています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示さ	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

[自由記述欄]

- ・ 苦情解決の仕組みとして、第三者委員を設置し、入園のしおりにも、記載されています。
- ・ 行事後に利用者アンケートを行い、意見・要望などを次回に活かせるように職員会議等で話し合い、迅速に対応出来る体制が整備されています。
- ・ 第三者評価を受診し、事業内容の改善に活用しています。
- ・ 職員一人ひとりが自己評価を行い、その結果を職員全体で共有し、保育の質の向上や改善のための取り組みをされることが望ましいでしょう。
- ・ 職員会議は、定期的に行われており、会議上において子どもの状況などが、職員間で共有されています。
- ・ 入園のしおりやホームページなどでサービス選択に必要な情報を提供しています。
- ・ 乳児（2才児まで）を対象とした園であるので、次の受け入れ先には、保育が継続されるよう細かい配慮をされています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	B
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

[自由記述欄]

- ・対象児が全て乳児であることから、健康管理には特に気遣い、健康診断の結果や既往歴、予防接種の記録等が詳細にわたって記録されています。
- ・感染症対策のマニュアルがあり、一日に何度も空気の入れ換えを行い、手洗いは一人ずつ保育士と一緒にしています。
- ・旬の食材を生かした給食が提供され、食器にも乳児園ならではの工夫がされています。保護者向けのサンプル掲示があるとより良いでしょう。
- ・アレルギー疾患を持った子どもに対し、見た目があまり違わない代替食が提供されています。
- ・年齢や発達に応じた言葉かけ方法、くつろげる空間づくり等を職員会議や園内研修で話し合い、日々より良くする努力をしています。
- ・しっかり歩き、たくさんあそぶことを目的に、近くの公園へ時間をかけて、お散歩に出かけています。
- ・障害児保育も可能になるよう、バリアフリーの検討を期待します。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	B
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

[自由記述欄]

- ・登降園時の保護者との情報交換内容を必要に応じて記録し、職員間で周知を図っています。定期的な機会を設けて相談に応じる個別面談なども実施しています。
- ・絵本の読み聞かせ会、クラス懇談会、運動会、生活発表会など、保護者が参加する行事を多く実施し、園と保護者が共通理解をもてるようにしています。
- ・虐待に関するマニュアルを定め、早期発見に努めるとともに、関係機関への通達まで職員間の連携を整備しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	B	B
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

[自由記述欄]

- ・調理施設衛生管理マニュアル、食中毒防止マニュアルを定め、職員間で周知しています。今後は食品温度も記録すると、なお良いでしょう。
- ・施設の設備等の事故防止安全チェックリストがあり、毎日確認しています。
- ・安全管理マニュアルがあり、災害発生時等の職員の対応を定め、職員間で確認しています。避難時に地域の方と協力する体制を整えています。
- ・怪我をした時は、アクシデントレポートに、保育中に気付いたことは、ヒヤリハットに記入し、防止策をその都度話し合っています。
- ・防犯マニュアルがあるので不審者に対する訓練などは、警察と連携をとり研修されると良いでしょう。